

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

豊かな自然と歴史が織りなす「美夜古」のまちづくり

2. 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県並びに行橋市及び福岡県京都郡みやこ町

3. 地域再生計画の区域

行橋市並びに福岡県京都郡みやこ町及び福岡県築上郡築上町の全域

4. 地域再生計画の目標

本計画は、福岡県の東部に位置し、行橋市、京都郡みやこ町、築上郡築上町の1市2町、人口約113,000人、面積約340km²の地域を対象としている。この地域は、古くは「美夜古」と呼ばれ、弥生・古墳時代には、九州と近畿地方を結ぶ窓口として発展してきた。域内には、豊前国分寺・国分尼寺をはじめとした多くの文化遺産が現存し、往事、政治・文化の中心地であったことが伺える。

本地域の北部は、北九州都市圏に接し、そのベッドタウンとしてJR行橋駅を中心に市街地を形成している。近年、中心市街地では、JR行橋駅の高架化と併せ、駅西側の区画整理事業に取り組むなど、商業地と住宅地が調和した新しいまちづくりが進められている。一方、南部、西部は、それぞれ大分県境の英彦山山系、周防灘に面することから、豊かな自然環境にも恵まれ、「京築ヒノキ」、「勝山ねぎ」、「いちじく」、「豊前海一粒かき」等の特産物が多数生産されている。

こうした中、本地域では、平成18年3月の新北九州空港の開港をはじめ、東九州自動車道 苅田北九州IC～豊津IC間の工事着手など、基幹となる交通基盤の整備が急速に進みつつあり、今後、物流の高速化や交流人口の増加等に対応した産業の育成、安全で快適なまちづくりの実現が急務となっている。

特に、沿海部の集落地域では、主要な幹線道路へと連絡する道路網の整備の遅れにより、地域住民の利便性、歩行者の安全性が損なわれているほか、特産品である「豊前海一粒かき」などの販路拡大を図るうえからも、早急に流通経路となる道路網の整備が必要である。また、地域経済を支えている農林業の分野では、現在、本地域の地形的要因から、農

地が広がる谷間と谷間を結ぶ横方向の道路がないため、農産物、林産物輸送に支障を来しており、農林業の振興を図るうえで大きな阻害要因となっている。加えて、交流人口の増加が見込まれる観光業についても、点在する諸施設を有機的に連携するための広域的な周遊ルートの設定や、これに伴う道路網の整備を進めていくことが求められている。

この課題に取り組むために、本交付金事業で市・町道と農道・林道を一体的に整備し、伊良原ダム建設事業等の関連事業と連携し、生活基盤、産業基盤の整備に関わる事業を一体的に行い、地域経済の活性化はもとより、安心して豊かな快適生活環境づくりを進めていく。

(目標 1) 快適な生活環境の創出

(歩行空間の整備による交通死亡事故の根絶

過去5カ年 6件 → 0件)

(緊急車両の通行が迅速化する世帯数の増 65戸)

(目標 2) 農林水産業の振興

(豊前海一粒かきの生産量 20%増)

(いちじくの取引価格 10%増)

(いちじくジャムの生産量 250%増)

(京築ヒノキを含む森林の整備量 20%増)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

本地域では、沿海部を除いて、谷間と谷間を横方向に結ぶ基幹道路がないため、地域の中央部に広域農道「京築三期地区」の整備を通して、農産物、林産物の効率的な流通の実現に努める。この際、京築ヒノキの銘柄化に取り組んでいる山間部では、幅員狭小で緊急車両の通行できない、みやこ町道「杉山・彦山線」、^{ようきく}「用作・^{りゅうげ}龍毛線」の改良工事や林道「西犀川線」、「蔵持山線」の整備を進めることで、森林整備の促進や林業振興、帆柱キャンプ場へのアクセス改善などに結びつけていく。

一方、沿海部では、主要な幹線道路は整備済みであるものの、それらを連絡する道路網の整備が遅れているため、行橋市道「中央一丁目・^{いしだしんかい}石田新開線」、「^{せん}前田・^{わたうち}綿打線」、「^{みのしま}南大橋一丁目・^{しろう}葦島線」、「^{しろお}城尾・^{ひらぼろ}平原線」の4路線を整備し、水産業をはじめとした産業活動の振興と生活環境の向上を目的とした道路網の充実を目指すものである。

5-2 法第5章の特別の処置を適用して行う事業

(道整備交付金を活用する事業)

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。
なお、整備箇所等については、別添整備箇所を示した図面による。

- 行橋市道：道路法に規定する市道に認定済み * ()：認定月日
 - ・ 中央一丁目・石田新開線 (昭和 58 年 12 月 21 日)
 - ・ 前田・綿打線 (昭和 58 年 12 月 21 日)
 - ・ 南大橋一丁目・葦島線 (平成 16 年 3 月 25 日)
 - ・ 城尾・平原線 (昭和 58 年 12 月 21 日)
- みやこ町道：道路法に規定する町道に認定済み * ()：認定月日
 - ・ 杉山・彦山線 (昭和 61 年 12 月 19 日)
 - ・ 用作・龍毛線 (昭和 61 年 12 月 19 日)
- 広域農道 京築三期地区
 - ・ 事業採択を平成 18 年 4 月 3 日に国から通知を受けるとともに、事業計画は土地改良法に基づく手続きを行い、平成 18 年 9 月 15 日に確定している。
- 林道 森林法による遠賀川森林計画 (平成 19 年 4 月樹立) に路線を記載。
 - ・ 西犀川線 (平成 19 年 4 月 1 日策定)
 - ・ 蔵持山線 (平成 19 年 4 月 1 日策定)

【施設の種類の種類 (事業区域)、事業主体】

- | | | |
|---------|-----------------|------|
| ○ 行橋市道 | 4 路線 (行橋市) | 行橋市 |
| ○ みやこ町道 | 2 路線 (みやこ町) | みやこ町 |
| ○ 広域農道 | 1 路線 (みやこ町、築上町) | 福岡県 |
| ○ 林道 | 2 路線 (みやこ町) | 福岡県 |

【事業期間】

- | | | |
|---------|------|-------------------|
| ○ 行橋市道 | 4 路線 | 平成 19 年度~平成 23 年度 |
| ○ みやこ町道 | 2 路線 | 平成 19 年度~平成 22 年度 |
| ○ 広域農道 | 1 路線 | 平成 19 年度~平成 22 年度 |
| ○ 林道 | 2 路線 | 平成 22 年度~平成 23 年度 |

【整備量及び事業費】

- 行橋市道 L=2,800m、みやこ町道 L= 400m、広域農道 L=2,890m、林道 L=1,600m
- 総事業費 5,205,250 千円 (うち交付金 2,602,625 千円)
(内訳) 行橋市道 205,000 千円 (うち交付金 102,500 千円)

みやこ町道	150,000 千円	(うち交付金	75,000 千円)
広域農道	4,415,250 千円	(うち交付金	2,207,625 千円)
林道	435,000 千円	(うち交付金	217,500 千円)

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「豊かな自然と歴史が織りなす「美夜古」のまちづくり」を達成するため以下の事業を総合的かつ一体的に行う。

① 伊良原ダム建設事業

洪水調節、流水の正常な機能維持、及び田川、京築地区の水道用水の確保を目的に総貯水量 2,870 万 m³のダムを建設する事業

② 新鮮フライト便園芸産地育成事業（福岡県単独事業）

地域農産物を新北九州空港から京浜市場へ空輸し、販路拡大等に結びつける事業

③ 森林総合利用施設「蛇淵キャンプ場」整備事業（みやこ町営事業）

豊かな自然環境にふれ合う場として、コテージ 11 棟を整備するとともに、既設の遊歩道などバリアフリー化に取り組む事業

6. 計画期間

平成 19 年度～平成 23 年度

7. 目標達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了時に必要な調査を行い、状況を把握する。また、事業の見直しを図るために、福岡県、行橋市、みやこ町による、「美夜古」地域再生会議を開催し、事業の進捗に応じて達成状況の評価・検討等を行う。

8. その他地方公共団体が必要と認める事項

特になし